

【様式】

政 務 活 動 一 覧

議員名：島谷龍司

旅行期間	活動日時	活動先			政務活動の内容	関連領収書番号
		住所	活動先の名称	対応部局等		
7.7.23～ 7.24	7.7.23 10:50 ～16:00 7.24 9:30 ～11:00	石川県輪島市、 金沢市ほか	輪島港、七尾港、 和倉港、金沢港	国土交通省北陸 地方整備局、石 川県商工労働部 港湾活用室	能登半島震災に よる被災復旧状 況石川県内港湾 視察調査	319
7.7.25	7.25 9:30 ～10:30	大阪市北区	鳥取県関西本部	鳥取県関西本部	大阪・関西万博 による県内への 誘客等調査	714
7.8.15	7.8.15 14:00 ～15:30	大阪市此花区	大阪・関西万国 博覧会 インド の日式典	駐日インド大使 館	大阪・関西万博 会場でのインド 独立記念日祝賀 式典出席	807, 809 ～ 812
7.8.28	7.8.28 13:00 ～15:00	鳥取県鳥取市	議員勉強会	文部科学省 児童生徒課生徒 指導室 上久保秀樹氏	学びの多様化学 校と不登校支援 について	918
7.9.8	7.9.8 13:00 ～14:30 15:00 ～16:30	高知県高知市	高知大学農林海 洋科学部 高知県庁	高知大学 深田陽久教授 高知県水産振興 部水産業振興課 担当者	鳥取県議会鳥取 県の水産業の発 展を考える会に よる先進地調査	1018, 319
7.9.9	7.9.9 13:30 ～16:40	東京都千代田区	駐日インド大使 館	駐日インド大使 館	駐日インド大使 館で開催の「鳥 取県の日」出席	814, 825, 904～911
7.10.9～ 10.10	10.9 11:00 ～12:00 10.10 10:00 ～11:15	東京都千代田区	首相官邸 領土・主権展示 館	石破総理大臣ほ か県選出国會議 員 領土・主権展示 館関係者	本県選出国會議 員との地方創生 推進等に関する 協議 わが国固有の領 土・主権につい ての研修受講	919, 1005 ～1010

7. 11. 5～ 11. 6	11. 6 10:00 ～12:00	広島県広島市	中国電力(株) 本社	中国電力(株) 芦 谷中国電力代表 取締役会長ほか	原子力発電を中 心とする今後の 脱炭素化に対す る取り組みにつ いての意見交換	1101, 1102 , 1104, 110 7
7. 11. 17～ 11. 18	11. 18 10:00 ～11:00	東京都千代田区	衆議院第一議員 会館	山陰近畿自動車 道整備推進議員 連盟、山陰近畿 自動車道整備推 進協議会・ほか	山陰近畿自動車 道整備推進決起 大会への参加	1113 ～ 1119, 1121
8. 1. 26～ 1. 27	1. 26 16:30 ～18:00	大阪市此花区	リーベルホテル 大阪	関西経済連合会 加盟企業、鳥取 県進出企業関係 者ほか	「鳥取県×関西 経済連合会 経 済交流セミナー i n 関西」への 出席	114, 116 ～ 120
	18:30 ～20:00	大阪市中央区	ホテルニューオ ータニ大阪	チャンドル・ア ップル在大阪・ 神戸インド総領 事ほか総領事館 関係者	インド共和国記 念祝賀式典への 出席	
	1. 27 11:00 ～13:00	大阪市北区	ヒルトン大阪	平井鳥取県知事 及び在大阪・神 戸インド総領事 ほか総領事館関 係者	県産松葉ガニの 全国へのPRイベ ントへの参加	

- ・交通費（JR等運賃、タクシー代、駐車場代）、宿泊費、会議等への参加費及び会議の開催経費（会場代、講師謝金等）に政務活動費を充当する場合に記載すること。
- ・移動日等も含め政務活動が複数日に渡る場合は、移動日等を含めた「旅行期間」と実際の政務活動を行った「活動日時」を記載すること。なお、旅行期間が1日である場合は、旅行期間欄は空欄とし、活動日時欄の時間は記載不要とする。
- ・県外及び国外での政務活動については、別途「活動報告（県外・国外）」を提出すること。

活 動 報 告（県外・国外）

議員名： 島谷龍司

活 動 事 項	① 石川県内港湾視察調査 ② 大阪・関西万博による県内への誘客等調査
活 動 年 月 日	① 令和7年7月23日（水）～24日（木） ② 7月25日（金）
場 所	① I 石川県 輪島港、七尾港、和倉港 7月23日 10:50～16:00 II 石川県 金沢港 7月24日 9:30～11:00 ② 大阪市北区 鳥取県関西本部 7月25日 9:30～10:30
活動の相手方	① I 国土交通省北陸地方整備局 能登港湾空港復興推進室 西條副室長ほか II 石川県商工労働部 港湾活用室 北井次長ほか ② 鳥取県関西本部 森本本部長
活 動 の 目 的	① 能登地方震災での石川県内港湾の被災状況、被災後の港湾利用による支援、復旧状況及び金沢港における人流（主にクルーズ利用の現状）・物流について利活用の現状調査し、鳥取港の利活用及び振興への本県施策へ役立てるため ② 大阪市で開催されている万国博覧会には、国内はもとより海外からも多くの観客が来場され活況をきたしている。 万博会場に来場したインバウンド客はもちろんのこと国内の万博観覧者を本県に誘導し、関係人口及び交流人口の増加を図ることが今後の本県施策の重要課題と認識され、本県でも関西パビリオンへの出店や鳥取県ディーを実施するなど積極的に取り組まれている。 これらの現状を聴取するとともに、関西圏における本県への観光客誘致や情報発信等の取組について調査・確認し、今後の県施策への提言に役立てるため。
活 動 の 内 容	① I 国土交通省北陸地方建設局の職員から輪島港、和倉港、七尾港の各港における能登地方震災の被災状況と復旧状況を現地で説明を受けた。その後、現地事務所において港湾を利用した被災時の支援について説明を受け、質疑応答を行った。 II 石川県が整備した金沢港クルーズターミナルにおいて、金沢港における人流・物流の現状と今後の取り組みについて石川県担当職員から聴取し、質疑応答を実施するとともに、震災被害の普及状況を視察した。 ② 関西・大阪万博の会場内で催される鳥取県関係のイベントを通じ、国内もちろんのことインバウンド客を含めた来場者の本県への誘客に向けた取り組みの現状と課題について、鳥取県関西本部の本部長から聴取し、万博終了後も含めて今後の取組について意見交換を行った。

活動の結果等	① 能登地方震災は道路を始めとしたさまざまなインフラに甚大な被害をもたらしたが、港湾も例外ではなく、能登地方のほとんどの港湾も大きな被害が生じている。中でも震源に近い奥能登に存在する港湾は、海底隆起や地盤沈下などにより使用不可能であった、多くの関係者により日々懸命な復旧作業が行われ、多くの港湾機能が復旧していた。 本県においても大規模震災発生時における被害想定をもとに、復旧と道路が使用不能になる場合のリダンダンシーとしての港湾活用を考えるうえで大いに参考になった。 また、鳥取港の整備計画によりクルーズ船の大型化が期待されており、規模が異なるが金沢港におけるクルーズ船受け入れの現状を今後の鳥取港振興に役立てていきたい。 ② 開催中の関西・大阪万博に関連してインバウンド客を始めとした本県への観光客誘致や交流人口の拡大への現状と課題、今後の取り組み方針等について実態に即して聴取するとともに、鳥取県ブースでの来場者の声などの状況を聴取でき、県政へ提言を行う上でも参考になった。
連領収書番号	319、714

活 動 報 告（県外）

議員名：島 谷 龍 司

活 動 事 項	大阪・関西万国博覧会 インドの日式典出席
活 動 年 月 日	令和7年8月15日 14:00～15:00
場 所	大阪市此花区 大阪・関西万国博覧会会場
活動の相手方	インド大使館
活 動 の 目 的	インド共和国の独立記念日である8月15日に大阪・関西万国博覧会会場において、インド共和国ナショナルデーとして開催されたインド独立記念祝賀式典への出席
活 動 の 内 容	大阪・関西万博会場でのインド独立記念日祝賀式典出席した
活動の結果等	式典（インド・ナショナルデー）が開催され、インド独立記念日の祝賀行事が執り行われた。 冒頭で 国旗掲揚・国歌演奏が行われ、インドの独立を祝う式典としての公式要素が実施された。 続いて、日本側・インド側の代表（シビ・ジョージ駐日特命全権大使）によるスピーチが行われ、友好や文化交流の意義が共有された。 その後、伝統的なインド舞踊の披露や文化プログラムが式典の一部として行われた。 鳥取県・インド友好議員連盟の会長として招待を受け、式典に出席したが、改めて鳥取県とインド共和国との交流の重要性を認識した。
関連領収書番号	807、809～812

活 動 報 告 (県外)

議員名： 島谷龍司

活 動 事 項	産業としての養殖業の将来展望及び水産業における女性の活躍推進に関する視察調査
活 動 年 月 日	令和7年9月8日 (月) 13:00～16:30
場 所	1 高知大学農林海洋科学部 (高知市) 2 高知県庁 (高知市)
活動の相手方	1 高知大学農林海洋科学部 深田陽久教授 2 高知県水産振興部水産業振興課 担当者
活 動 の 目 的	1 高知大学において取り組まれている水産養殖業での資料確保・開発、魚病予防、効率的な養殖システムの開発など先進的な研究、実践について 2 高知県における水産業における女性の活躍推進に係る先進的取組について それぞれ内容聴取、意見交換を行い、その結果を県政への提言等につなげる。
活 動 の 内 容	1 水産業における栽培漁業の先進的研究を実施、現場で実践されている高知大学農林海洋学部の深田教授から産業としての養殖業が将来的にどのように取り組まれるべきかとの知見を聴取し、今後の本県養殖業の取組に生かせるよう意見交換を行った。 2 高知県における水産業における女性の活躍推進に係る先進的取組について、水産業振興課の担当者から事業等の実施状況及びその成果、今後の取り組み方針などについて概要を聴取し、その後、積極的な意見交換を行った。
活動の結果等	本県においては、高知県と海洋の状況、従事者の構成などの地域事情が異なるものの、水産資源の減少は同様であり、獲る漁業を発展させつつ造る漁業への取り組みを強化していく段階にある。 また、本県において漁業従事者の高齢化は進んでおり、高知県の若年層を中心として新規就業者の参入・定着の促進のための女性活躍推進事業を参考にして、男性だけでなく女性も水産業に従事したいと思われるような取組検討を推進することができると考えられる 今回学んだこれらのことから、本県の水産業発展のために、今後の議会質問等に反映させていきたい。
連領収書番号	1018、319

活 動 報 告 (県外)

議員名：島 谷 龍 司

活 動 事 項	駐日インド共和国大使館「とっとりデー」への出席
活 動 年 月 日	令和7年9月9日 13:30～16:40
場 所	駐日インド共和国大使館（東京都千代田区）
活動の相手方	シビ・ジョージ駐日インド大使ほか
活 動 の 目 的	インド関係者に向けて本県の観光、文化、食ビジネスなどのPRを行うことでコネクションの形成及びインドにおける本県知名度向上を図り、今後のインドとの交流拡大につなげていくために鳥取県と駐日インド大使館との共催で開催された「とっとりデー」に鳥取県議会鳥取県インド友好議員連盟会長として出席。
活 動 の 内 容	1 鳥取県・インド観光・文化・ビジネスセミナー 鳥取県とインドがそれぞれの観光・文化・ビジネス等についてプレゼンテーションを実施した。本県関係では、鳥取県観光大使、県内酒造関係者、その他インド展開企業などの事例発表があった。 2 交流会 大使館ロビーで伝統文化・工芸品紹介、観光、企業などのブース展示を行い、本県とインドとの一層の交流促進を図った。
活動の結果等	本県とインド共和国との交流は始まったばかりであり、今回の駐日インド共和国大使館での「とっとりデー」開催は適期に実施されたものと思われた。 県議会鳥取県インド友好議員連盟としても今後もこの古流の一層の促進のために働きかけていかねばと思った。
連領収書番号	814、825、904～911

活 動 報 告（県外）

議員名：島 谷 龍 司

活 動 事 項	1 本県選出国會議員と鳥取県における地方創生の推進等について協議 2 わが国固有の領土・主権についての研修受講
活 動 年 月 日	1 令和7年10月9日（木） 11:00～12:00 2 10月10日（金） 10:00～11:15
場 所	1 首相官邸（東京都千代田区） 2 領土・主権展示館（東京都千代田区）
活動の相手方	1 石破総理大臣ほか本県選出国會議員 2 領土・主権展示館 解説担当者
活 動 の 目 的	1 人口減少が進展している本県において、今後の地方創生への取り組み方と目標にすべき成果について本県選出国會議員と協議し、本県施策推進に資する。 2 周辺国における領土侵害の現状を確認し、今後の領土保全と主権の確立に対する我が国の立場を理解する。
活 動 の 内 容	1 本県選出の石破茂総理大臣、赤澤良正経済再生担当大臣、舞立昇治財務副大臣、藤井一博参議院議員及び出川桃子参議院議員と鳥取県における地方創生の推進策について協議した。 2 日本の固有の領土に関する歴史的根拠と現状を、一次資料に基づいて国内外に正確に発信する拠点である領土・主権展示場で研修を受講した。
活動結果等	1 人口、経済の東京一極集中の弊害について共通理解を深め、この結果を今後の本県施策における地方創生推進に生かしていく。 2 竹島、北方領土及び尖閣諸島における主変国における我が国主権の侵害を目の当たりにし、今後の主権回復への思いを強くした。
連領収書番号	919、1005～1010

活動報告（県外）

議員名：島谷龍司

活動事項	原子力発電を中心とする今後の脱炭素化に対する取り組みについての意見交換
活動年月日	令和7年11月5日（水） 移動日 11月6日（木） 10:00～12:00
場所	中国電力株式会社本社
活動の相手方	芦谷 中国電力（株）代表取締役会長 森田 中国電力（株）執行役員兼鳥取支社長
活動の目的	地球温暖化・気候変動への危機感の高まりとともに、世界的に再生可能エネルギーがあらためて注目されるようになっているが、近年国内では大規模な太陽光発電や風力発電が環境破壊の一因となっているとの議論が生まれている。このため、本県を含む中国地方での最大の電力供給事業者である中国電力日本における再生可能エネルギーの現状と普及・拡大に向けた課題について意見交換を行い、今後の原子力発電などへの知見を広め今後の議会活動の参考にするため。
活動の内容	大規模太陽発電および風力発電の慈雨用と課題について意見交換するとともに、本県に隣接している島根原子力発電所の現状と今後の再稼働に向けての取り組み、再生エネルギーの中でも最も安定的な電力供給源である水力発電の現状と今後の見通しなどについて聴取し、今後の本県への関りについて意見交換を行った。
活動の結果等	電力事業者は、安全確保を大前提に、安定供給、経済性、地球温暖化への環境適合を同時達成を目指す観点から、様々な発電方式を採用しているが、それぞれの発電方式には課題もあることが知られている。 その中でも原子力と水力は地球温暖化への負荷が少なく、安定的な電力供給を行うことで知られている。 今回の意見交換を通じて、今後、この発電方式をいかに維持していくのかの知見を得られ、議会活動を通して本県施策への提言の参考となった。
連領収書番号	1101、1102、1104、1107

活 動 報 告 (県外)

議員名： 島谷龍司

活 動 事 項	山陰近畿自動車道整備推進決起大会への参加
活 動 年 月 日	令和7年11月17日(月) 移動日 宿泊 18日(火) 10:00～11:00
場 所	衆議院第一議員会館
活動の相手方	山陰近畿自動車道整備推進議員連盟、山陰近畿自動車道整備推進協議会 ほか
活 動 の 目 的	日本海沿岸の高規格道路のミッシングリンクを解消し、日本海国土軸形成する重要な道路である山陰近畿自動車道の早期整備完成を図るため。
活 動 の 内 容	山陰近畿自動車道整備推進議員連盟及び山陰近畿自動車道整備推進協議会主催の標記大会へ三府県議員の会会員として参加した。 同大会には関係府県選出国會議員、関係府県知事はじめ関係自治体関係者、国土交通省関係者など約200名が参加し、関係機関への要望書手交や意見交換が行われた。
活動の結果等	山陰近畿自動車道の早期整備完成に向けて、参加者全員が一致団結して国土交通省など関係機関に対して訴えることができた。
連領収書番号	1113～1119、1121

活動報告（県外）

議員名：島谷龍司

活動事項	1 「鳥取県×関西経済連合会 経済交流セミナー in 関西」への出席 2 インド共和国記念祝賀式典への出席 3 県産松葉ガニの全国へのPRイベントへの参加
活動年月日	1 令和8年1月26日（月） 16:30～18:00 2 " 18:30～20:00 3 27日（火） 11:00～13:00
場所	1 リーベルホテル大阪（大阪市此花区） 2 ホテルニューオータニ大阪（大阪市中央区） 3 ヒルトン大阪（大阪市北区）
活動の相手方	1 関西経済連合会加盟企業、鳥取県進出企業関係者ほか 2 チャンドル・アップル在大阪・神戸インド総領事ほか総領事館関係者 3 平井鳥取県知事及び在大阪・神戸インド総領事ほか総領事館関係者
活動の目的	1 本県と関西経済連合会共催による経済交流セミナーに参加することにより、本県の魅力に関西圏の企業に伝え、更なる経済交流を支援する施策提言の参考にするため。 2 1950年1月26日にインド憲法が發布され、共和国となったことを記念する日である共和国記念日を祝した祝典が大阪市で開催され、鳥取県議会インド友好議員連盟会長として招待を受けたため、これに応え祝意を表すため。 3 今後交流を促進しようとしているインド共和国チャンドル・アップル在大阪・神戸総領事を迎え、平井知事と本県水産関係者によるトップセールスにより、全国に本県の特産物である「松葉がに」とりわけ最高級ブランドの「五輝星」の認知度を今以上に向上させ、全国へ販売促進を図るとともにインドでの認知度向上のため。
活動の内容	1 鳥取県商工労働部、鳥取県産業振興機構及び（公）関西経済連合会の担当者等による経済交流施策の現状等についての説明と「鳥取大学の挑戦」と題した原田鳥取大学学長による基調講演を聴取した。 2 駐日インド大使や在大阪・神戸総領事を始め700名を超える在日インド人、西日本各地のインド関連経済人、行政関係者など様々な招待客が集い、インドの大切な祝日を祝った。 3 在大阪・神戸総領事をゲストとしてお迎えし、地元仲買大手の中村俊介中村商店社長とともに地元鳥取県産（賀露港産）の松葉ガニを使った料理を平井知事にトップセールスしていただくことにより、全国での鳥取県産ズワイガニ「松葉蟹」とりわけ「五輝星」の認知度向上を図るとともにインドでの認知度向上を図った

活動の結果等	1 関西経済連合会との交流による本県企業の販路拡大への現状と課題、今後の取り組み方針等について実態に即して聴取でき、県政へ提言を行う上でも参考になった。 2 アップル総領事とは昨年来複数回の面談しており、旧交を温めるとともに、今後の本県とインドの経済的、人的交流の深化を図ることを確認でき、本県施策を支援するうえでも有効な機会であった。 3 蟹取県を標榜している本県にとって、鳥取港（賀露港）で水揚げされた松葉ガニ「五輝星」を日本国内はもとより、本県が今後交流を推進しようとしているインド共和国での認知度向上と販路拡大を図るためイベントを行った。 多くのマスコミなど各種情報媒体が本県産の松葉ガニを取り上げてもらうことができ、一層の認知度向上が図られた。 また、本県水産業はもとより、本県への来県を促すなど観光面にとっても振興の一助となるなどの貴重な機会になった。
連領収書番号	114、116～120